

## 平成29年度 一般社団法人佐渡観光協会事業報告

昨年4月から施行された特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用し、滞在型観光促進のため、佐渡ならではの食や体験といった地域の魅力ある旅行商品として「佐渡体験パック」の企画造成・販売を行いました。また、インバウンド対策として新潟空港を利用する台湾からのツアー誘致のため現地での誘客宣伝活動の実施、佐渡の食の魅力を紹介する「レストランバス」、夜の体験ツアー「ようま観光バスツアー」など新たな取り組みを行い、新たな客層に向けての誘客を図りました。そのほか、世界遺産登録の国内推薦を目指す佐渡金銀山の取組として、旅行会社へのツアー商品造成支援や広告宣伝を展開するとともに商談会・キャラバン・物産展等に参加し佐渡の情報発信と誘客につとめました。

今年度は、DMOの設立に向け、佐渡市観光地域づくり推進協議会を中心に議論を行い、佐渡観光協会と佐渡地域観光交流ネットワークの合併による新組織への移行手続きを行ってまいりました。日本版DMOとして平成30年2月に観光庁へ候補法人の申請を行い、3月30日に「地域DMO」として登録認定を受けることができました。今後観光関連事業者をはじめ、一次産業や商工業、文化団体など多様な関係者とともに、これからの観光戦略の基本となる佐渡ならではの観光地域づくりの推進を図ってまいります。

### 【個別事業の概要】

誘客宣伝事業支出・・・272,930,601円

1 給与費 17,982,933円（観光案内所運営委託事業人件費除く）

2 事業活動費 24,416,097円

事務本部、両津港案内所、相川案内所、南佐渡案内所に職員を配置し、自主事業として島内受入イベント企画・現地視察の助成や広告宣伝及び情報発信、観光案内に関する事業、支部主催・共催イベントの運営・助成などを実施しました。給与費及び事業活動費は本支部の人件費、事務費及び自主事業運営関連経費で、佐渡市から人件費、事務費として事務局運営費補助金(①29,559,000円)を収受しました。

3 補助事業費 25,434,962円（①事務局運営費補助金29,559,000円除く）

②広域観光連携補助事業（3,110,287円）

交流人口の拡大等を目的に、対岸の新潟市・長岡市・上越市との広域連携による観光物産展及びセールス・広告宣伝等を行い、周遊観光にむけた誘客促進に取り組みました。また、天草との連携を拡大し、壱岐島、五島列島を加えた「島の宝観光連盟」を発足し、HPの作成やイベントへの共同出展するなど離島間の連携を図りました。その他クルーズ船誘致に向け、旅行会社への訪問や自治体関係者との情報交換などを行いました。

### 【事業評価や今後の展開】

新潟市・長岡市・上越市とは航路利用も含め、継続的に連携を図っており、今後も航路利用の促進及びインバウンド誘致に向け更なる連携を図っていきます。また「島の宝観光連盟」においても、他の離島との連携を拡大し情報交換と島の魅力の発信のため活動してまいります。

⑬外国人観光客誘致補助事業 (5,020,395 円)

台湾・中国・香港・韓国及びロシアを対象に、佐渡島内に1泊以上宿泊する旅行商品を造成し送客を行った旅行者に対し、送客1人1泊あたり1,000円(未成年の児童及び生徒などで構成の団体は500円)の報奨金を交付しました。また、台湾・中国・シンガポール・ハワイ等のインバウンド商談会参加や現地旅行会社へのセールス、海外メディアやインバウンド関係者の招聘事業等を行いました。

報奨金実績： 12社 2,600人 (昨年 10社 948人)

【事業評価や今後の展開】

報奨金については、台湾・新潟間の定期便就航を期に、台湾からの送客が大きく伸び、宿泊助成の利用が増加しました。既に制度について知っていた旅行社にとってはツアー造成・送客の後押しとして作用したと考えられます。次年度からはこれまでの対象国の制限を外しより利用しやすい制度として活用していきます。また、今年度から本格化させたアメリカ(北米・ハワイ)の現地セールスによりロスアンゼルスやハワイからのツアーが多く造成されており、今後も誘客に有望な地域として継続してセールスを行っていきます。

⑭金を中心とする宝の島佐渡の遺産群活用補助事業(7,596,972 円)

北沢浮遊選鉱場でのライトアップにあわせ、野外レストラン「DINING OUT SADO」と佐渡初となるプロジェクションマッピングを実施し、クリエイティブ及び文化・食の佐渡をPRしました。

【事業評価や今後の展開】

「DINING OUT SADO」では今回の会場をライトアップ、プロジェクションマッピングされている北沢浮遊選鉱場で行うことにより、新たな魅力、質の高いサービスを行うことが可能となり、富裕層へのアプローチを行い、参加費用が高額にもかかわらず定員を満たすことができました。

プロジェクションマッピングでは告知をHPやSNSでしか行わなかったにも関わらず、口コミにより2日間で約1,350人の集客を行うことができました。北沢浮遊選鉱場を活用することにより、今後は佐渡の芸能披露や地域の飲食店、宿泊施設との連携が期待できます。

⑮佐渡産海産物提供造成補助事業(4,006,493 円)

佐渡の海産物を提供するため、地引網体験と海鮮バーベキューを着地型旅行商品として販売し、地域経済の活性化を図るため事業展開しました。

佐渡さわねフィッシャーマンズ BBQ 53名

地引網体験イベント 30名

【事業評価や今後の展開】

漁師をはじめとする漁協との連携により、夏休みの家族、子供向けの企画として地元の人と観光客との交流を行うことができました。初めて魚を触る子供や、参加者と一緒に網を引く共同作業などが高評価でした。ただ BBQ イベントでは食材が豊富だったにもかかわらず飲食店との連携に課題が残る形になったので、今後に向けての展開が必要かと思われれます。地引網体験はすでに継続して行える体制が整ったので、通年プランとしても販売しており、修学旅行やインバウンド、個

人旅行にも対応が可能となりました。

⑮佐渡金銀山の歴史情緒あふれる観光地づくり補助事業(2,623,453円)

世界遺産登録を目指す相川エリアをより魅力的な観光地とすべく、佐渡奉行所・京町通りなどを活用した「奉行所 de スイーツ」「貸し衣装 de まちあるき」を実施しました。

奉行所 de スイーツ 201名

貸し衣装 de まちあるき 24名

【事業評価や今後の展開】

奉行所スイーツでは相川の飲食店との連携を図ることができました。貸し衣装でもSNSやインスタグラム等での発信を行うことができ、外国人観光客の利用も多くありました。課題として、予約をしなくてもスイーツを提供される仕組みが必要で、佐渡奉行所のスタッフで対応できる体制づくりが課題となっています。

⑯佐渡地域づくり団体活動支援交付金(284,940円)

平成29年1月～3月までのふるさと納税団体活動支援交付金を活用し、天領佐渡両津薪能を中心に、その他の能及びイベントを実施する際の観賞用ベンチイスを20脚購入しました。

【事業評価や今後の展開】

現在ベンチイスが不足していることからブルーシートなどで対応しており、その解消と共に、今後島内で実施されるイベントに対し、貸し出すなど活用していきます。

⑰県内周遊観光促進事業(390,000円)

新潟県観光協会の補助事業として、県内の複数観光地等を繋ぐ周遊観光の充実を図るため、県外からのバスツアー誘致や新幹線駅等からの周遊バスツアーについて、地域における周遊観光を促進する目的でバス1台1日30,000円の支援を行いました。クラブツーリズム㈱ 3本催行 5台

【事業評価や今後の展開】

申請に関しては6社(9拠点)14商品を対象に申請しましたが、5社(5拠点)10商品に対して交付決定をいただきました。実績としては、年末年始の商品を中心に動いた程度で、秋の商品についての動きが芳しくなく、軒並み旅行会社からは「中止」の連絡や催行されたツアーに関しても助成対象となる最少人数を満たしておらず1社のみの結果となりました。

⑱地域の魅力向上支援補助事業(2,402,422円)

佐渡特有の伝統芸能「鬼太鼓」のワークショップ商品販売に向け、太鼓・鬼面など関連備品を整備するとともに、ワークショップ実施に向け組織体制を構築するため説明会・研修会を通じて島内の鬼太鼓組と連携を図りました。

【事業評価や今後の展開】

初年度はあいぽーと佐渡を中心とする両津地区の鬼太鼓団体からの組織作りを行い、5団体との連携を図ることができました。お客様に鬼太鼓を体験してもらうに

あたっての基礎知識や指導方法などを佐渡芸能伝承機構の松田代表を中心にワークショップを行い、次年度の販売に向けて動き出し、既に修学旅行やインバウンドからの予約が入っており、本番に向けて準備中です。

#### 4 委託事業費 205,096,609円

##### ④観光案内所運營業務委託(17,881,960円)

佐渡を訪れた観光客等に対し、的確な現地情報の提供による案内を行うため、両津港案内所、相川観光案内所、南佐渡観光案内所の3カ所において案内業務を行いました。

問合せ 窓口 30,541名 電話 18,970件 ファックス 1,400件 メール 1,391件  
郵送 174件

案内パンフレット請求 8,490件 観光案内 39,463件 交通案内 12,402件  
宿泊案内 3,740件 その他 11,366件

##### 【事業評価や今後の展開】

佐渡観光の拠点となる両津港・相川・南佐渡の3カ所で来所者を含めた観光情報需要者に対し、観光情報の提供に努めました。また次年度「新潟県における広域周遊ルート誘客促進事業(観光案内所機能拡充)」に参画することで、首都圏及び新潟県内の観光案内所からの誘客が期待できることから案内所機能の充実を図ります。

##### ⑤通年観光化旅行商品造成支援業務委託(976,000円)

通年観光化を図るため、4月、11月～2月の旅行商品造成に対し、送客1人あたり800円の助成を行いました。また助成を受けるための条件として、佐渡おけさ鑑賞と踊り体験への参加や特典として鬼太鼓披露やふれあいガイド、トキガイド、ジオパークガイドの無料ガイド利用を実施しました。

##### 旅行商品造成支援

- ・読売旅行関西国内旅行部 107名
- ・阪急交通社鹿児島支店 121名
- ・阪急交通社中部日本営業本部 245名
- ・阪急交通社メディア営業一部国内営業2課 152名
- ・阪急交通社西日本営業本部 78名

##### ふれあいガイドの利用実績

- ・相川ガイド 6件 利用者 212名
- ・小木ガイド 2件 利用者 80名

##### 佐渡おけさ鑑賞と踊り体験

- ・相川会場 4回実施 小木会場 12回実施
- 鬼太鼓披露 5回実施

##### 【事業評価や今後の展開】

旅行会社の造成担当者からは民謡鑑賞の立寄りに関する制約が厳しく思うように行程が組めないといった意見や、「佐渡おけさ鑑賞と踊り体験」の実施時期が4月及び11月～2月までと時期が限られており、年間を通しての立寄りであれば組込み可能であったが、年度の途中で組み入れたり、外したりというのがコー

スの組み立て上難しいこともあり、多くの旅行会社がこの支援を利用することなく実績が上がりませんでした。ここ数年は大手メディアの商品を造成している旅行会社は年間通しての商品造成をしているため、助成対象は年間通してやるなどの措置が今後必要とされます。

⑥通年観光化モニターツアー業務委託（1,447,212円）

観光シーズン外でも体験可能な観光コースを提案するため、首都圏及び関西旅行会社の企画担当者等を佐渡に招聘し現地視察を実施しました。今回は宿泊施設で提供する「さどごはん」をコースに取り入れ、佐渡の郷土料理を今後商品造成してもらえよう提案しました。

関西旅行会社 5月11日～13日

参加者数：28名（参加者21名＋JR西日本3名＋添乗4名）

首都圏旅行会社 5月22日～24日

参加者数：7名（参加者6名＋添乗1名）

【事業評価や今後の展開】

旅行会社の目的に合わせた商品展開や観光素材の充実ぶりなどを知ってもらうことができ、今後の商品造成に役立てられる形のモニターツアーとなりました。また、宿泊施設をはじめ、「食」に関する評価も高かったこともあり「サドメシラン」や「さどごはん」といった素材も今後取り込みたいという担当者もあり、また違う季節での佐渡の魅力を感じてもらえることもでき、通年観光を進めるうえで、今後新たな時期での送客も見込まれる可能性もでてきました。

⑦春山トレッキング旅行商品造成支援・PR業務委託(2,677,501円)

近年伸びているトレッキングの新たな魅力を発掘・周知するため、新コースによる早春ツアーを実施・販売しました。また新潟日報や岳人にて佐渡トレッキングの紹介やツアーの告知を行いました。

- ・ 棚田景観と山野草の癒しコース 3名
- ・ 大人の山旅、花と歴史のゆったりコース 3名
- ・ シラネアオイの群落に行く大佐渡山脈横断コース 10名
- ・ 佐渡最高峰への花街道コース 18名

【事業評価や今後の展開】

ツアー告知の時期が催行日まで期間が短かったこともあり、集客自体の伸びは少なかったです。しかし、これまであまり紹介のなかった早春のトレッキングをガイドと移動付きで催行することにより、早春の登山愛好家への働きかけとしては一定の効果があったと思われます。また、全国流通している登山雑誌への掲載により佐渡の登山の魅力を広く発信することができました。事業としては今年度で終了します。

⑧観光PR業務委託（14,950,727円）

多様化する旅行者のニーズや外国人観光客に対応するため、佐渡ならではの観光資源や着地型旅行商品を紹介するパンフレットの作成を行い、観光案内所等での配布や誘客イベントや商談会セールス等での活用を行いました。

・主な着地型観光PRパンフレット作成	
2017秋・冬エンジョイプランパンフレット	15,000部
2018春・夏エンジョイプランパンフレット	20,000部
佐渡さんぽ	60,000部
佐渡さんぽ英語	1,000部
佐渡さんぽ繁体語、簡体語	各500部
観光マップ	90,000部
その他ポスター、トレッキングマップ、薪能チラシ等	

**【事業評価や今後の展開】**

佐渡ならではの観光素材を活用した着地型旅行商品を造成したうえで、パンフレット等を作成して観光誘客を図りました。また旅行客のニーズに対応するためにトレッキングマップや薪能チラシなど作成し、情報提供ができました。

⑨食の魅力情報発信事業業務委託(733,337円)

佐渡観光の満足度を高め、新たな観光コンテンツとするため、「さどごはん」企画を宿泊施設で提供すると共に、さどごはん、活ズワイガニ・ニシバイ貝・活南蛮エビのチラシを作成しました。その他るるぶトラベルサイトにて特集ページ及び宿泊プランの掲載を実施しました。

さどごはん参画 9軒 活ズワイガニ参画 12軒 活南蛮エビ参画 9軒  
ニシバイ貝参画 6軒

**【事業評価や今後の展開】**

参画施設が昨年度より増加したことと、るるぶで特集・宿泊プランを掲載したことで昨年度より認知度は高まったと思われます。この事業は今年度で終了しますが、今後開催されるDCは「食で地域のストーリーを伝える」ことがコンセプトであるため、お客様に魅力が伝わりやすく、施設が無理なく続けていけるような仕組みづくりを引き続き参画施設の方々と進めていきます。

⑩誘客広告宣伝業務委託(5,290,929円)

県内においては新潟日報朝刊で佐渡宝島特集などの新聞広告を2回掲載とFMポート新年会ツアーを実施、ダイビング専門誌2誌への広告掲載、トレッキングの全国専門誌への広告掲載を行いました。また、福利厚生サービス会社リロクラブの会報誌やホームページ、メールマガジンへの情報発信や佐渡宿泊補助キャンペーンを実施しました。その他佐渡の観光関係者による首都圏JR駅構内、東京スカイツリー等での観光キャラバンを実施しました。

**【事業評価や今後の展開】**

当初の計画どおり、新聞・雑誌・ラジオ等の広告展開を行うとともに、新たな取り組みをしたことで広く佐渡の周知を図ることができました。次年度も引き続き新たな切り口で広告展開していきます。

⑪交通連携誘客業務委託(3,928,000円)

JR東日本と連携した広告宣伝として成田エクスプレスのトレインチャンネル15秒CMの放映やインバウンド対策も含めた成田空港内でのポスター掲示を9月1ヶ月同時期に実施し、情報発信を行いました。また、JR西日本との連携による旅行

商品販売促進として、団体企画等の旅行商品や小口・大口団体等へのインセンティブ支援(1人100円当たり)を4月～9月に実施し、13,900名の利用がありました。

**【事業評価や今後の展開】**

成田空港と成田エクスプレスの広告宣伝は、別々の時期に実施すると効果が弱くなることから、一緒にできたのは相乗効果もあり、佐渡への意識啓発に繋がりました。また、ANAターミナルの出発ロビーの告知もインバウンド誘客のきっかけにもなりました。

JR西日本との連携については、目標数を大きく超えた業者もあり、結果として全体の目標数を超える結果となりました。また達成できなかった業者も目標数に大きく届かなかった業者は少なく、今後サポート体制を築くなどして佐渡への送客を強めてもらえるようJR西日本と協議してまいります。

⑫観光情報発信事業業務委託 (6,057,585円)

閲覧者の利便性と観光誘客の向上を図るため、「さど観光ナビ」において、サイト上に登録しているスポット情報を組み合わせ、自分だけの旅行プランが作成できる機能の追加やウェブページの印刷対応の可能、英語・簡体語・繁体語・韓国語・ロシア語の5言語に特集ページの翻訳を行い情報量の増加を図りました。

指標	セッション数 (訪問回数)	ユーザー数 (訪問人数)	PV数 (閲覧ページ数)
平成28年度	654,602	446,207	2,728,607
平成29年度	801,152	549,927	2,948,006
差	146,550	103,720	219,399

※日本語、英語ページの合計値。

**【事業評価や今後の展開】**

佐渡市公式観光情報サイト「さど観光ナビ」は、今年度も前年の実績を上回る結果となり、昨年度以上に有益な情報提供をすることができました。システム改修により、サイトの利便性を向上させたので、次年度はさらなる成果が期待できると思います。また、さど観光ナビと一体的にSNS(Facebook)での情報発信に注力し、1年間で449のいいね!を獲得できました。

⑬VJ地方連携促進業務委託 (800,708円)

個人旅行型の形態が増加する外国人観光客に向け情報発信を行うため、新潟県及び新潟市等と連携し、中国・台湾・韓国・タイのインフルエンサー及び雑誌編集者を招聘しました。佐渡を取材するにあたり、実際に体験取材から得た意見を基に佐渡市と連携し、滞在型体験を含めたコースを取材してもらい、佐渡の持つ観光資源をSNSや旅行雑誌で情報発信を行いました。

**【事業評価や今後の展開】**

各国で人気・影響力のある芸能人やブロガーを起用することで、彼らがSNSで発信した佐渡の魅力を多くの人に知らせることができました。また、招聘後にアンケートを実施することにより各国の観光に対する見方や嗜好性を確認することが

できました。このデータを今後誘客の戦略を立てる際に生かしていきます。

⑰滞在型個人旅行促進業務委託(148, 586, 155 円)

国の特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用して、島内での滞在時間の延長及びもう 1 泊するための魅力ある着地型旅行商品造成を推進するため、取り組みとして次の事業を行いました。

(1) ジェットfoilで行く佐渡体験パック

ジェットfoilの割引運賃と佐渡ならではの体験と宿泊のセットを基本に体験プランをコースに含めた会員バスなどオプションを含めた旅行商品の開発・販売を行いました。また告知にあたり、テレビ・新聞・雑誌・インターネット・鉄道施設等での広告宣伝展開を図り誘致に努めました。

佐渡汽船体験パック実績 657 名

J R 体験パック実績 129 名

体験パック会員バス実績 212 名

(2) 外国人旅行者の滞在型観光促進

海外旅行会社に対し、ジェットfoilを利用し、佐渡に 1 泊以上または指定する体験を旅行行程に組み入れたツアーに対し運賃助成を行いました。

利用実績 1, 766 名

(3) 台湾での宣伝展開活動

- ・ラッピングバス 台北 60 台 台中 15 台 11 月～1 月
- ・MR T 広告南京復興駅 3 か月間
- ・ランタンフェスタ i n 嘉義での佐渡観光体験 P R ランタン制作。またイベントに鬼太鼓を派遣し佐渡の P R と誘客促進を図りました。
- ・佐渡体験商品プロモーション映像制作・放送  
(台湾全土ケーブルテレビ加入世帯 500 万世帯)

(4) レストランバス

佐渡の食のルーツに触れながら島内料理人による佐渡の味覚をいただくコースとして昼間と夜の 2 コースで実施しました。また周知にあたり、チラシの作成、雑誌での広告展開を行いました。

10 月 6 日～9 日 参加者数 87 名

(5) ようま観光バスツアー

夜の佐渡に着目し民話や伝承にゆかりのある地にてプロジェクションマッピング等を活用したアートの演出によるバスツアーを実施しました。

12 月 6, 8, 9 日 参加者数 77 名

(6) ピーチ就航タイアップ情報発信

3 月新潟空港に就航するピーチとタイアップし、フリーマガジン「ピーチライブ」にて佐渡の体験商品や佐渡の日キャンペーンを掲載し、情報発信を行いました。

(7) W E B 予約販売システム構築

着地型旅行商品等をさど観光サイト上でエンジョイプラン、各種ガイドの予約手配など販売できる仕組みや支払方法もクレジット決済と現地払の選択が可能になるなどシステムを再構築しました。



(8) モニーツアー

当事業で造成した体験を中心とした旅行会社モニーツアーを実施しました。

首都圏旅行会社 11月9日～11日 参加者数 6名

関西中部北陸旅行会社 11月16日～18日 参加者数 6名

台湾旅行会社マスコミ 11月24日～26日 参加者数 32名

【事業評価や今後の展開】

今年度初めての事業として佐渡市からの委託を受け実施しました。事業で造成した国内旅行社向けの体験パックについては、新たに造成した佐渡での体験を商品に組み込み佐渡汽船とJR東日本の商品として販売し商品の満足度は約84%となりました。また、台湾向けのパックへの助成事業は好調で冬場の佐渡観光を支え、延べ宿泊者数の増加に寄与しました。また、事業の中で台湾向けのプロモーションに力を入れたこともあり、台湾からの誘客全体が大きく伸びました。次年度も今年度の取組からさらに発展させ、誘客に努めます。

②着地型トライアル催行業務委託(1,766,495円)

多様な関係者を巻き込んだ着地型旅行商品のトライアル事業として、首都圏在住の20～30代の女性をターゲットに、佐渡食材の調理・試食体験、鬼太鼓体験などの体験プログラムを組み込んだモニーツアーを実施し、今後の旅行商品化の課題を探り、佐渡版DMOが取り扱う商品とプロモーション体制の構築に向けた素地づくりを行いました。

【事業評価や今後の展開】

今回のモニターは情報収集力のある旅慣れた女性でしたが、佐渡についてほとんど知らなかったため、ターゲットに合わせた細やかな情報発信が必要であると感じました。新たな取り組みとして、郷土料理（佐渡食材の調理・試食体験）と郷土芸能（鬼太鼓体験）を「祭り」という非日常的なストーリーとして体験していただくことにより、ツアー参加者と体験提供者双方にコミュニケーションが生まれ、お互いに喜んでいただくことができました。

旅行業事業支出・・・16,706,507円

着地型旅行商品・宿泊手配や主催・手配ツアー、さどまる倶楽部予約手配、エンジョイプランHP管理などを実施しました。職員1名を配置して商品造成などの業務を行いました。

区分	H29年度収入	H28年度収入	対前年比
エンジョイプラン	4,485,801	2,248,643	199.4%
宿泊手配	489,730	492,635	99.4%
主催手配ツアー等	8,319,805	15,162,540	54.8%
ライナーバス乗車賃	0	1,452,195	%
さどまる倶楽部及び準市民登録委託	1,999,140	60,000	3,331.9%
合計	15,294,476	19,416,013	78.7%

- ・エンジョイプラン 1,554人（前年678人）
- ・宿泊斡旋 615人（前年823人）

**【事業評価や今後の展開】**

今年度は前年度佐渡市から委託を受け、手配関係を実施した全国棚田（千枚田）サミットという大きな大会はありませんでしたが、アース・セレブレーションツアーや更生保護女子の集いの手配、佐渡市委託事業のさどまる倶楽部予約手配業務等を行い、売り上げを伸ばすことができました。今年度にウェブサイト上で予約・販売できる予約販売システムを構築したことで、エンジョイプラン等体験プログラムの申し込み増加となるよう観光客のニーズにあった多種多様な着地型旅行商品の開発に努めていきます。

管理費支出・・・13,101,894円

常務理事及び1名の職員を配置して法人運営の基本的事務を行いました。

かかる経費として、職員給与・会議費・旅費交通費・負担金等に支出しました。